



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

第2心臓カテーテル室 運用開始！



新しい心臓カテーテル室

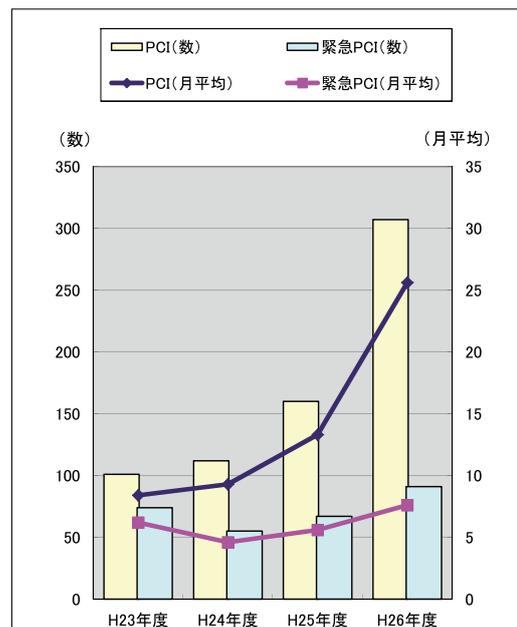
当院は急性期病院として人吉球磨をはじめ、宮崎県や鹿児島県の県境市町村からも多くの救急患者の受入を行っております。その中でも循環器疾患は救急患者全体の10%を占めています。現在、当循環器内科では、急性心筋梗塞や狭心症など虚血性心疾患の治療に対して、カテーテル治療を行っています。右記のデータの通り、件数は年々増加傾向にあります。昨年はカテーテル検査469件、カテーテル治療290件、下大静脈フィルター6件、ペースメーカー治療68件等を行いました。

これまで、医師3名、看護師2名、臨床検査技師1名、放射線技師1名、臨床工学技士1名がチームとなって、一つのカテーテル室で治療に臨んでいました。

今回、一人でも多くの患者さんの治療を迅速にあたるよう、造影室として使用していた部屋をカテーテル室として使えるようになりましたので、現在2室を使用し治療にあたっております。

これからも地域の救急病院として循環器疾患の正確な診断と迅速な対応を目指していきたく思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。

循環器内科部長 中村 伸一



年別 PCI(心臓カテーテル治療)件数

人吉医療センター 地域協力会総会 開催



去る7月30日当院講堂にて、第3回人吉医療センター地域協力会総会が行われました。

人吉医療センター地域協力会とは、当院が地域住民から信頼され、地域とともに病院が充実し発展していくように住民の皆様と連携を密にすることを目的とした会です。主な活動として有事の際の患者避難の協力や花壇の整備、人吉医療センターの行事への協力などです。いつも綺麗な花壇や災害訓練の患者役・炊出し、病院フェスティバルなど会員の皆様にもいつもご協力いただいております。

総会には、今年度より顧問に就任された松岡隼人人吉市長も出席され、要綱の確認や昨年度の活動報告、防災計画や役員再任の紹介などが議題として行われました。会の冒頭で木村院長より病院ボランティアには重要な役割を持っていることの話もあり会員の皆様も熱心に耳を傾けられていたと感じました。会長には、丸尾 喜世人さんが再任されました。

当院は地域に根ざした開かれた病院として、日頃からボランティア受入や地域の皆様と支え合う関係を築いております。会員については随時募集しております。お気軽に人吉医療センター総務企画課までお問合せ下さい。

総務企画課 中村 佑希

球磨地域医療構想 検討専門部会が発足

2025年問題に向けて、地域の医療需要の将来推計や報告された情報等を活用し、都道府県を中心に地域の医療関係者、行政、住民が連携して、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を適切に推進するための「地域医療構想」を策定する作業が今年度より本格化しております。人吉球磨地域においても県を中心に専門機関の代表者が集まり、検討専門部会が発足されました。当院からは院長が委員として参加しています。球磨地域医療構想について熊本県人吉保健所よりコメントを頂戴しましたので、掲載を致します。

～球磨地域医療構想に寄せて～

2025年問題に象徴されるように、今後高齢化の進展に伴い医療や介護の需要の増加が予想されています。医療資源に限りがある中、地域で安心して暮らしていけるよう持続可能な医療提供体制を整えていくことが必要です。昨年6月に「医療介護総合確保推進法」が成立しましたが、今後地域において医療と介護を総合的に推進するために、地域包括ケアシステムの構築とともに医療機能の分化・連携、在宅医療や介護サービスの充実等を図っていくことが求められています。そのような中、今回都道府県では医療計画の中で「地域医療構想」を策定することになりました。この地域医療構想は、将来の入院医療の需要や必要量の見通しを踏まえ、地域の実情に応じて将来の地域医療の姿を作り上げていくものです。球磨地域では去る8月3日に第1回の球磨地域医療構想検討専門部会を開催しましたが、今後専門部会を重ね、平成29年2月を目途に策定する予定としています。

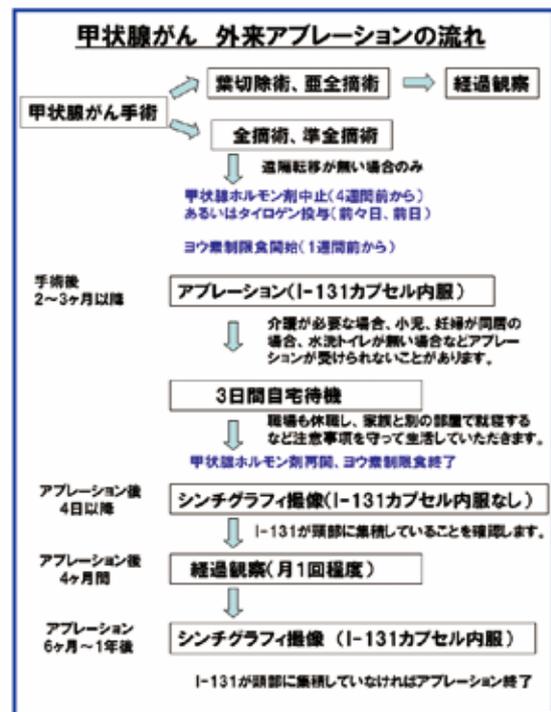
熊本県人吉保健所長 緒方 敬子

I-131による残存甲状腺破壊 (アブレーション)

甲状腺悪性腫瘍のうち分化型甲状腺癌は外科的手術による甲状腺の摘出が必須で、手術後に補助療法としてI-131（放射線を放出する医薬品）を用いて行う残存甲状腺破壊（以下アブレーション）が行われる場合があります。

I-131を用いた放射性ヨード内用療法による甲状腺全摘術後の残存甲状腺/腫瘍組織の破壊をアブレーションと呼びます。特にハイリスクと評価され、甲状腺全摘術となった症例に対してはアブレーションを行うことにより、局所制御率や無病生存率を向上させるとの報告がなされています。以前は入院でのみ可能であったこのアブレーション治療が2010年より患者さんの病状によっては外来でも可能となりました。今後当院においても外来にてアブレーションが行えるよう現在準備を進めております。治療可能となった際は詳細をお知らせいたします。

画像診断センター 診療放射線技師 西迫 正悟



登録医リレーエッセイ Vol.20

今年7月に、人吉市歯科医師会・会長2期目を会員各位より仰せ付かりました、與田（よだ）と申します。2年後に会長を退任予定ですのでそれまで職務を全うする所存です。

当歯科医院の所在地は、人高通りを東に向かい願成時温泉の2軒隣で、当地で開業して今年で20年になりますが、同町内での最初の開業からは31年になります。未だに借金返済継続中で、

「はたらけど はたらけど わが生活（くらし） 楽にならざり ちつと手を見る」の心境です。（啄木より働いているとは思いますが…）

人吉医療センターと私は、それなりに深い繋がりがありまして、それは副院長の下川先生と東小・一中・人高と同級生だったこともあります。実は私が生まれたのは当時の人吉総合病院だということです。双生児でして、帝王切開だったというのが、総合病院という選択肢に大きく影響していると思われまふ。その他、10数年前、年末の夜中に心房細動で救急搬送先されたのも人吉総合

病院でした。父が脳出血で2回搬送されたのも、母が腰椎ヘルニアで入院したのも…身内だけでも数え上げれば切りがありません。

余談はさておき、平素は病診連携、人吉球磨臨床歯科研修会等で、人吉医療センター歯科口腔外科の、石神先生・別府先生・藤崎先生、地域連携室の皆様大変お世話になっています。厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、前述の私の例のみならず、地元の人々が、人吉医療センターの恩恵に浴していると言っても過言ではありません。今後とも南九州3県県境地域の医療連携・救急医療の中核として、災害発生時の拠点病院として、JCHO人吉医療センターの更なる発展を期待しております。



人吉市歯科医師会会長
与田 歯科医院
與田 桂三

認定看護師 新たに2名誕生！

今年新たに2名の認定看護師が誕生しました。現在当院には12名の認定看護師が在籍しております。今回合格しました脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と糖尿病認定看護師をご紹介します。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

私は、現在、当院の脳神経外科病棟で約10年、看護師として働いております。ここ数年の当院の認定看護師の方々の活躍を見てきて、脳神経看護の分野においても、看護の力で、まだまだ患者さんの為に行えることがあるのではないかと進学をきめました。家族には寂しい思いをさせてしまいましたが、周囲の方々の励ましを受け、熊本保健科学大学での半年間の認定看護師教育課程を無事修了し、今年、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師となることができました。

脳血管疾患は現在、日本人の死因の第4位ですが、寝たきりとなる疾患の第1位となっています。医療の進歩により、死亡率は減少していますが、高齢化とともに、その患者数は上昇傾向で、人吉・球磨においても、脳卒中患者さんは増加傾向にあります。

脳卒中とは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つを言い、おもにその3つの疾患の看護について詳しく学んできました。

脳卒中患者さんに早期からリハビリテーションを開始することは、廃用症候群を予防し、ADLの向上と社会復帰率

を上げることは周知のことです。また、そのリハビリテーションチームは、チームによって集中的に行うことで、効果が高いことも明らかとなっています。その中で、看護師の役割は、病態も含め全人的に患者さんを把握し、リハビリテーションが行える体を作っていくこと、24時間の日常生活の看護ケアを、患者さんの力を引き出しながら計画的にできるかが重要となります。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師に期待される役割として、脳卒中患者さんの発症直後から在宅におけるまで、その人らしい生活の再構築に向けて、質の高い看護実践を行うこと、更に、自分自身が実践するだけでなく、自分の周囲の看護スタッフにも指導をしていく役割があります。

今後、ストロークチームの結成、活動を行っていく予定です。期待される役割を果たせるよう頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。



5階西病棟 今田 泉

糖尿病認定看護師

現在日本の糖尿病と糖尿病予備軍の合計は2050万人で、国民の5人に1人が該当（2012年）。また、糖尿病患者や糖尿病予備軍の増加に伴い、糖尿病合併症も増加しています。糖尿病合併症には急性合併症と慢性合併症があり、慢性合併症では、大血管症と細小血管症が出現します。そして、網膜症、腎症、神経障害の3大合併症の他に、心筋梗塞や脳梗塞までも引き起こします。加えて、近年の研究結果では、癌やアルツハイマー型認知症の要因であることも報告されています。そのため、患者のADLやQOLは低下し、自宅での生活が困難となる危険も予測され、2025年問題に向け、糖尿病患者の治療と生活管理が重要となってくると考えます。しかし、糖尿病は慢性疾患であり、患者は一生をかけて療養生活の継続を行わなければ

ならず、その苦悩は多大なものであります。ゆえに、私たち医療者はお互いに協力し合い、患者一人一人を、身体・心理・社会的側面からアセスメントし、個々に合ったケアを提供する必要があると考えます。これらのことから、糖尿病看護認定看護師の特化した技術である①血糖パターンマネジメント②フットケア③糖尿病ケアシステムの実践を通して、看護職者への指導・相談を行っていきたくと思っています。糖尿病患者への指導・教育の他、予防教育に関する事で、お困りのことがありましたら、いつでもご相談下さい。



5階西病棟 根笹 真由美



ハワイ研修を終えて

7月8日から10日にかけて、ハワイ大学 Sim Tiki Simulation Center にて行われた Resident course に研修医3名で参加しました。同施設は全米でも有数の設備を誇ることで知られています。設備が充実しているだけでなく、よく練られたシナリオとインストラクターの真摯な姿勢によって、現場さながらの環境の中で効果的な振り返りを行いながら研修を行うことができます。シミュレーションの様子は部屋に取り付けられたカメラで撮影されており、別室でインストラクターが確認しながらシミュレータ(患者さんを模した人形)を操作したり、シミュレーション終了後に参加者とインストラクターとで検討したりするのに行われます。

今回は当直時の急変への対応、救急患者への初期対応、気管挿管困難例への対処、小児救急など様々なテーマにつ

いて学びました。内視鏡手技のシミュレーションでは当院研修医の堀之内が優秀な成績を収め、記念の品をいただきました。いずれのシミュレーション・レクチャーも非常に丁寧で、ひとつの事例について検討する中で様々な知識を得ることができました。



筆者：左から2番目

研修以外の時間にも、タクシーの運転手さんからハワイのホームレス事情・医療事情について話を聞いたり、実弾射撃体験を通じて銃の恐ろしさを体感したり、米国軍隊博物館で太平洋戦争を振り返ったりと、様々なことを学んだ5日間でした。このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様に深く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

JCHO 人吉医療センター 臨床研修医(基幹型) 佐野 あゆみ

地域医療研修 in 奄美大島

7月に奄美大島の瀬戸内徳洲会病院に地域医療研修で行って参りました。鹿児島空港から飛行機で約1時間。梅雨明けしていない湿度90%近くあるどんよりと曇った奄美空港に到着しました。そこから海と森を眺めながら車で南下すること2時間、奄美大島の最南端に位置する瀬戸内町に到着。瀬戸内町は本島と加計呂麻島(かけろま島)、請島(うけ島)、与路島(よろ島)の4つの地域で構成される人口9000人の町です。中心地の古仁屋には町内唯一の高校である古仁屋高校があり、ここは私が高3の夏に高校野球最後の大会で対戦した相手でした。この古仁屋に研修先である瀬戸内徳洲会病院があり、加計呂麻島にある徳洲会加計呂麻診療所とともに奄美大島の南半分の医療の中心的役割を担っています。病床数は60床で常勤医は1名の小規模な病院なのでできることは限られていますが、他の徳洲会病院から派遣される応援スタッフとともに大勢の患者さんたちに対応していました。

研修内容としては、外来・病棟業務を中心として、救急対応や訪問診療などを行いました。病棟では主治医として入院から退院までの管理を任せられました。外来にきた患者さんの入院の判断や退院の判断など混乱の連続でした。ま

た治療が終了して自宅退院可能と判断しても、離島で一人暮らしだったり、秘境のような所に住んでいたり、退院も一筋縄には行かず、多くの部署の方に助けてもらいながらなんとか1ヶ月間を乗り切りました。

また、訪問診療と離島研修では、加計呂麻島と請島に実際に出向いて、患者さんたちがどのような場所でどのような生活をしているのかを学ぶ機会がありました。加計呂麻島には古仁屋から船で20分程で行くことができ、診療所(週2回の外来診療と訪問診療のみ)もありますが、急性期疾患は瀬戸内徳洲会病院で診察を受けるまでに早くても1時間程度かかってしまいます。さらに小さい請島や与路島の場合、診療所はなく1日1本の定期船を乗り継ぎ2時間程度かけて通院します。もちろん台風の時などは船が欠航するので、何かあっても諦めるしかないというのが実際のようなのです。満足なサービスを受けられない中で、集落全体で一人の患者さんをサポートするなど都市部ではなかなか見られないような関係性が自然に行われていることに驚きました。

今回の地域医療研修では、人吉医療センターでの研修とはひと味違った医療現場で研修することができました。この経験を忘れず、今後の診療に生かしていければと思います。

熊本大学医学部附属病院臨床研修医 河上 純輝

接 遇 勉 強 会

7月23・24日に接遇力アップトレーニングが行われました。今回は、「より良い患者サービスのために」がテーマであり、身だしなみ・表情・お辞儀等を周囲のスタッフと確認し合いながら接遇について学びました。

講義の中で身だしなみや表情によって作られた第一印象は人格や施設のイメージまでも作り上げられるという話を聞き、何気なく交わっていた会話や挨拶は適切であったか考えさせられました。今年の4月に入職し患者様やご家族と話す機会が多くなった今、自分自身を見直す良い機会になりました。

今回の講義を受け、環境の変化や手術への不安を持って入院される患者様への接し方次第で安心を与えられるのではないかと考えることができました。業務に慣れることに精一杯の日々の中で医療を提供していくことばかり考えるのではなく、医療を安心して受ける事のできる環境作りにも努めていきたいと思っています。

管理栄養士 菰田 衣里子

院内ボランティアスタッフ紹介



名前：橋本 久吉
趣味：読書、健康太極拳、ウォーキング等
業務内容：一般ボランティア
兼傾聴ボランティア

1階受付にて案内及び移動支援を行っております。また、がんサロンに参加し、傾聴ボランティアの勉強中です。笑顔での挨拶、戸惑っている方への声掛け、当日の体調管理・身だしなみに心掛けて取り組んでいきます。

高校生 1 日看護体験

7月29日 当院において人吉球磨の「高校生の1日看護体験」が行われました。高校生は各病棟を訪ね、患者さんと触れ合い、様々な看護を体験してもらいました。感想文を頂きましたので、紹介します。

私は、今回の看護体験で初めて「医療」という現場を間近で見ることができました。実際に体験してみると、想像していた以上にびっくりすることがたくさんありました。私は、整形外科病棟で看護体験をさせていただきました。はじめに、いろいろな装具をさわらせていただきました。そして、コルセットや頸椎カラーを実際につけることができました。つけてみるとすごく苦しかったです。すると看護師さんが「患者さんはこれをつけたままご飯を食べたり眠ったりしているから、とても大変なんだよ」と教えて下さいました。なので、私は患者さんの「痛み」をわかるのも大切なことだと思いました。

次に、足浴のお手伝いを



させていただきました。私は浴室まで患者さんの車椅子をおしました。車椅子をおす速さや曲がるところが難しかったです。その後、足浴のお手伝いをしました。初めは看護師さんのお手本を見ていました。とても手つきがよくスムーズにやっておられました。そして自分たちがする時は、見た通りにやろうと思っていましたが、手加減が分からずとても下手くそだなあと思いました。特に傷の部分を洗うときは、痛くないのかなあとか強すぎないかなあなどを考え、すごく難しかったです。でも足浴が終わると、患者さんに「ありがとう」と何度も言われとても嬉しかったです。すると看護師さんに「ありがとう、と言われることは当たり前じゃないんだよ」と教えていただき、「ありがとう」という言葉の重みを改めて感じました。

今回の体験を通して、「看護師」という仕事は大変だということだけでなく、とてもやりがいのある仕事だということがわかりました。いま私は看護師になりたいと思っています。なので、これから精一杯勉強して、人の痛みが分かり、思いやりの持てる看護師になりたいと思いました。

人吉高校 3年



高校生インターンシップ・小学生ボランティア

毎年地域の中小高校生などでは職場体験やボランティアスクールが行われており、当院でも受入を行っています。院内の見学や実際の業務、患者さんとのふれあい等を体験していただいています。子どもたちには色々な体験を通して、これからの将来を考えていく上での一助になればと思います。

7月7-10日 球磨商業高校インターンシップ 4名

7月23-24日 小学生ボランティアスクール
(人吉市社会福祉協議会主催) 21名

7月31日 人吉高校インターンシップ 7名

<今後の予定>

9月 人吉第二中学校 10月 相良中学校

担当：総務企画課 谷口

～高校生 インターンシップ～

- ・今回の実習を通して人と関わる上で大切な笑顔とコミュニケーションの大切さを学びました。これからの高校生活においてもいろんな人とのかかわりを大切にしていきたい。今回のインターンシップを通して自分の夢に一步近づけた。
- ・レントゲン技師に興味をもった。仕事の大変さや挨拶や返事の大切さ、笑顔で接する大切さを学ぶことが出来た。
- ・日頃から服装などの身だしなみに気を遣い、挨拶などしっかりしていきたい。
- ・病院で働き、患者さんの命を救えるような人になりたいと強く思った。理学療法士になりたいと思っていたが、MRIやレントゲンなど画像センターに行ってみて放射線技師にも興味をもった。
- ・管理栄養士の仕事に興味があり、参加した。料理をしたり献立を考えるといったイメージだったが、実際に栄養指導の見学をして患者さんへの説明やコミュニケーションをとったり人と関わる事が多い仕事とわかった。管理栄養士の方の患者さんとまっすぐ向き

合って努力される姿をみて素晴らしい職業だと改めて思いました。

- ・小児科での配慮や放射線科では病気を発見したり治療したりすることのすごさを感じました。また、人吉医療センターでは「チーム医療」を大事にされていてどの役割がかけてもいいけないことを知り、責任はあるけどとてもやりがいや充実感を感じることができると感じました。

～小学生 ボランティアスクール 塗り絵体験～

- ・みんなとしゃべりながら楽しくぬり絵が出来たのでうれしかったです。
- ・塗ることに集中できました。またやりたいです。
- ・難しいと思ったけれど自由に好きな色でぬれたのでとても楽しかったです。



「相良 700 年が生んだ 保守と進取の文化～日本でもっとも 豊かな隠れ里一人吉球磨～」が 日本遺産に認定！

人吉・球磨地域は、鎌倉時代から明治維新までの約700年間にわたり相良氏が治めた全国でもめずらしい地域です。相良氏はウンスンカルタや球磨焼酎など民衆の文化を尊重しつつ、寺社に都の建築様式を用いるなど新たな技術も取り入れ、国宝青井阿蘇神社など歴史的・文化的価値の高い社寺や仏像が信仰の対象として大切に受け継がれてきました。この「相良700年」に受け継がれた文化財や風習、地域の歴史を結びつけて紡がれたストーリーが、日本の文化・伝統の魅力を伝えるものとして、今年4月24日に日本遺産に認定されました。

「日本遺産」とは、文化庁が平成27年度から創設した新制度で、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る「ストーリー」を認定するというものです。文化財そのものが認定の対象となるわけではなく、ストーリーを語る上で不可欠な有形・無形の文化財群を地域主体で整備・活用し、国内外に発信することで観光振興や地域の活性化を図ることを目的とされています。

ストーリーを構成する文化財の一つに「老神神社」があります。周辺住民から“老神さん”として親しまれ信仰集める神社です。当院から徒歩1分の所に位置し、職員がよく行き交う場所でもあり、当院にとっても身近な神社であります。当院へお立ち寄りの際は、老神神社まで足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。また、11月20・21日に日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会が人吉市で開催されます。日本遺産に認定された球磨焼酎や人吉温泉を嗜んでもらい、様々な文化財や伝統に触れ、人吉・球磨の魅力を充分に感じていただければと思います。

医療福祉連携室 田頭 隼人

J.M.S に参加しています !!

J.M.S (ジャパン・マンモグラフィ・サンデー) とは？

平日は忙しく病院に行けない女性が、日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定 NPO 法人 J.POSH が協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィ検査を受診できる環境づくりへの取り組みです。2015年は10月18日の日曜日に行われます。

乳がんは、検診を受けることで、早期発見・早期治療を開始することができます。また、早期治療の効果が大きく期待できるがんです。

当院は、この J.M.S プログラムの趣旨に賛同し、参加医療機関となっています。

今年度の乳がん検診を受けられていない方、しばらく乳がん検診を受けておられない方、是非この機会をご利用ください。

<実施日時>

2015年10月18日 8:30-11:30

<検査内容及び検査料金>

- ① 乳腺・甲状腺超音波検査 : 3,240 円
- ② マンモグラフィ1方向+
乳腺・甲状腺超音波検査 : 5,400 円
- ③ マンモグラフィ2方向+
乳腺・甲状腺超音波検査 : 7,560 円

<場 所>

JCHO 人吉医療センター 予防医療センター

<その他>

- ・契約市町村クーポンが使用できます
- ・受診人数 20 名
- ・女性技師が対応いたします

[連絡先]

JCHO 人吉医療センター 予防医療センター
TEL 0966 (22) 7070 [担当] 日當

8月の勉強会報告

8月21日(金)第8回球磨川シンポジウム

1. 「循環器領域急性期治療病院としての人吉医療センターの現状～抗血小板療法に対するリスク管理を含めて～」
人吉医療センター 循環器内科 部長

中村 伸一 先生

2. 「心臓血管外科の最先端」

熊本大学大学院生命科学研究部 心臓血管外科学 教授
福井 寿啓 先生

8月27日(木)第76回乳腺カンファレンス ～乳癌治療ガイドライン講座 in 中外Webセミナー～

1. 「外科療法の改定ポイント」
帝京大学医学部 外科学講座 教授
神野 浩光 先生
2. 「放射線療法のポイント」
滋賀県立成人病センター 放射線治療科 科長
山内 智香子 先生
3. 「薬物療法の改定ポイント」
熊本大学大学院生命科学研究部 乳腺・内分泌外科学講座
准教授 山本 豊 先生
エリア講演「乳がん治療ガイドラインのまとめ」
人吉医療センター 緩和・在宅医療センター長
西村 卓祐 先生

8月のフレッシュマンセミナー報告

- 8/ 6 山本 彩加 「三代目 J Soul Brothers について」
- 8/13 原田 菜未 「私の好きなこと」
- 8/20 宮田 梨佳 「ハリーポッターについて」
- 8/27 橋本 奈央 「東日本大震災の派遣に行って」

新任紹介



いながき 穂 希 (5階西・看護師)

最終卒業校：愛知県立総合看護専門学校

趣味：フラダンス

モットー：笑顔・感謝・誠実がモットーです！

自分の性格：何事もポジティブに！マイペース
自分のコマーシャル：名古屋から引越して来て、分からない事ばかりですがとにかく一生懸命頑張ります！人吉の良い所をたくさん知りたいです！

